

報道関係各位

2025年12月25日  
第一園芸株式会社

**第一園芸が監修**  
**『スコッティ® カシミヤ サクラ』のティッシュに、**  
**桜を中心とした花々のリースで彩られた特別パッケージが登場**  
**～ひと足早い春の訪れを暮らしに～**

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は、日本製紙グループの日本製紙クレシア株式会社（住所：東京都千代田区神田駿河台4-6、代表取締役社長：安永敦美）が2026年1月1日（木）より数量限定で発売する『スコッティ® カシミヤ サクラ』のパッケージデザインを監修いたしました。

今回のパッケージは、第一園芸が選定した生花の桜や春の花々を用いて制作したリースをボックス全体にあしらい、新春にふさわしい華やかなデザインに仕上げています。



スコッティ カシミヤ サクラ

■『スコッティ® カシミヤ サクラ』

日本製紙クレシアでは、毎年新春に桜をモチーフにした『スコッティ® カシミヤ』を展開しています。今年は第一園芸が監修を担当し、生花の桜や春の花々で丹念に制作したリースをもとに、季節感豊かなパッケージデザインに仕上げました。

フレッシュな花材が持つ立体感や質感をそのまま生かしたビジュアルが、まるで桜がすぐそばで咲いているかのような生き生きとした印象をもたらし、ひと足早く春の気配を暮らしに届けるプレミアムなボックスティッシュとなっています。



天面/側面のパッケージデザイン

《本件に関する報道関係からのお問い合わせ》第一園芸株式会社 ブランド推進部 石川

Tel : 03-6404-1501 / Mail : info\_pr@daiichi-engei.co.jp

### ■デザイナー 志村紀子コメント

『スコッティ® カシミヤ クリスマス』に続いて、『スコッティ® カシミヤ サクラ』のパッケージデザインにも携わることができ、大変光栄に存じます。桜をテーマにしたパッケージであることから、生花の桜が入手できる時期を見極め、生花をふんだんに使ったリースを制作しました。また、このパッケージは向きを変えて3つ積み重ねると、ひとつのリースの形が現れるという遊び心を忍ばせており、デザインとしての楽しさを感じただけだと思います。



※2025.10.29 付リリース：第一園芸が監修『クリネックス』『スコッティ』ブランドのティッシュ・トイレットロールに、赤い花々をあしらったクリスマスリースの特別パッケージが登場

### ■パッケージに使用した植物について

主役となる桜を中心に、春を感じさせるさまざまな花々を組み合わせ、季節の息吹と華やぎを表現しています。



サクラ



ユキナギ



バラ



ラナンキュラス



アナベル

### ■商品名／個装入数／価格

商品名	個装入数	価格
スコッティ カシミヤ サクラ	440枚 (220組)	オープン価格

### ■発売日／地域

2026年1月1日（一部先行販売あり）／全国 ※限定パッケージがなくなり次第、終売

### ■第一園芸株式会社 概要

第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業128年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。

所在地：東京都品川区勝島1丁目5番21号 三井物産グローバルロジスティクス勝島20号館

代表者：代表取締役社長 山村勝治

創業：1898年（設立1951年）

資本金：4億8千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

HP：<https://www.daiichi-engei.jp/>

公式Facebook：<https://www.facebook.com/daiichiengen/>

### ■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

#### 【参考】

- ・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 [https://www.mitsufudosan.co.jp/esg\\_csr/approach/materiality/](https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/)
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>